

(6) 実践例4 道徳参観日の実践・保護者の協力（小・中事例）

ア 道徳参観日の実践

授業公開を通して学校における道徳教育への理解と協力を家庭や地域社会から得るために大切であると考え、極的に授業公開を行ってきた。授業の様子を参観するだけでなく、児童生徒と共に考え保護者の考えを付箋に記入し児童生徒に伝えるなど、参加型にも挑戦した。家庭、地域社会と連携し児童生徒を共に育むという地域を作っていきたい。

■大仁小学校授業参観風景



道徳授業参観 保護者感想より

小4年 「お母さんの請求書」

内容項目：家族愛、家庭生活の充実

私への感謝の言葉は、普段、「ご飯を作ってくれて・・・」
「洗濯をしてくれて・・・」というものだったので、授業であの発言（産んでくれて）をすることは驚きでした。普段は聞けない気持ちを知ることができて、忘れられない授業参観になりそうです。



■大仁中学校授業参観風景



道徳授業参観 保護者感想より

中3 「ジョイス」 内容項目：思いやり

授業で同じことについて考える機会がもてたことで、家に帰ってからもう一度教材を読んで家族で思いやりについて語り合いました。



イ 保護者への協力依頼

多様な家族環境に配慮しながら「生命の尊さ」や「家族愛」に関連した授業では、家庭と連携して授業を構想した。保護者に我が子の誕生の喜びの手紙を依頼し、授業の終末で扱い生命の連続性や偶然性について考えた。中学校ではお弁当の日に保護者からのメッセージカードや声掛けを推進し、家族愛について考える時に子どもの振り返りに生かす工夫をしている。また、「郷土愛」を扱う授業前には、家族にアンケートを取り、世代による思いの比較や深さを多角的に扱っている。



小1 「家族からの手紙」

『自分大切にされているんだ』『自分の命を実感する』

• なっ き •
初めてのテスト、大変だね...
でも、一生懸命に勉強したから、
努力はきっとおくれるよ!!
Fight!

